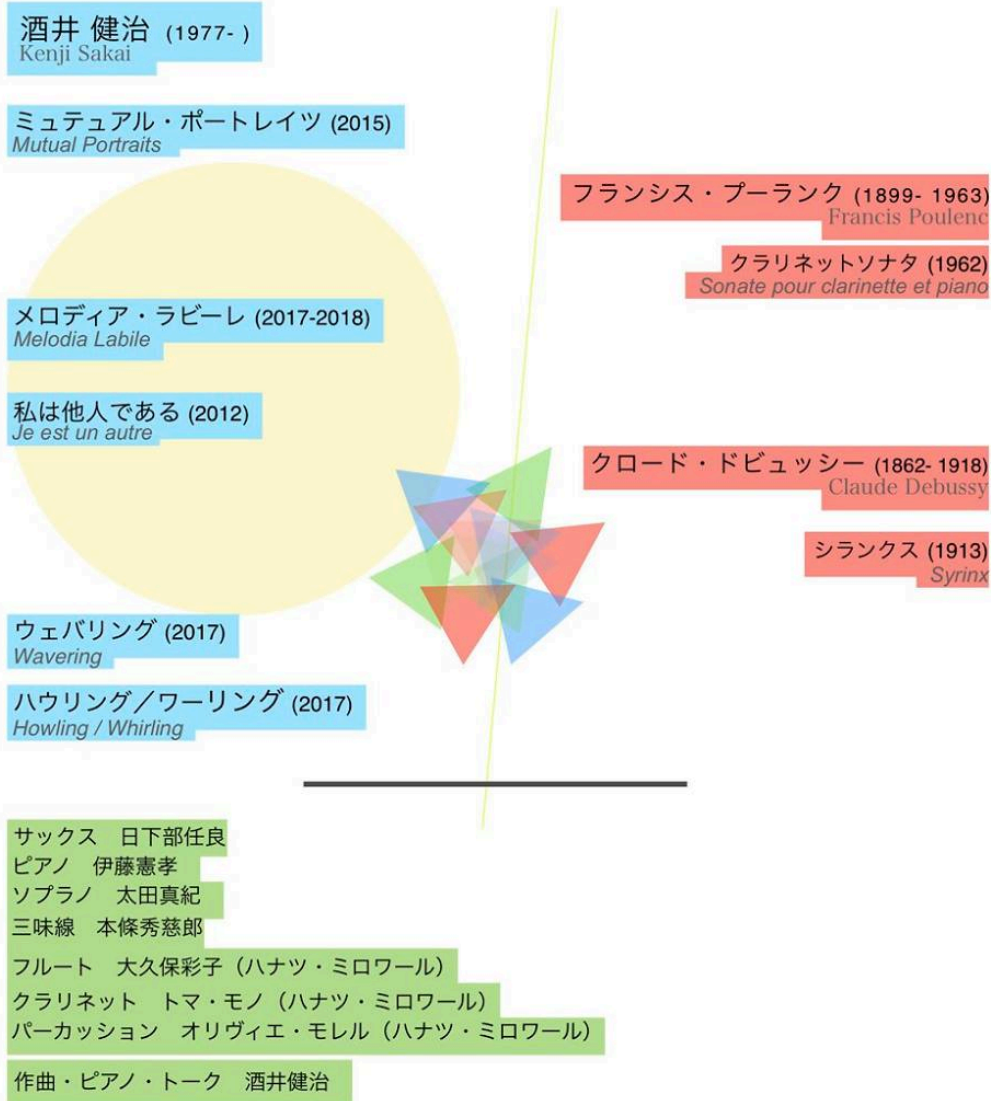


酒井健治プロデュース公演 #02a

帰国巡回個展 - 日欧の万華鏡、ハナツ・ミロワールを迎えて

K's Blue Production presents

Portrait of Kenji Sakai - Kaleidoscope with HANATSUMIROIR



2018年8月7日 (火) 愛知県芸術劇場小ホール 18:45開演 (18:00開場)

【チケット料金】
3,000円 (全席自由)
未就学児の入場はご遠慮ください。

【チケット取扱】
芸文プレイガイド Tel: 052-972-0430 (月曜休み 月曜が祝休日の場合、翌平日休み)
チケットぴあ Tel: 0570-02-9999 (音声自動応答・Pコード: 118-089)
<http://t.pia.jp> (PC & 携帯)

【お問い合わせ】
株式会社AMATI Tel: 03-3560-3010 (平日お問い合わせのみ)

主催: K's Blue Production
協力: 名古屋フィルハーモニー交響楽団 株式会社AMATI ナヤ・コレクティブ
助成: 芸術文化振興基金助成事業 sacem SPEDIDAM Grand Est



地下鉄東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分
(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)
名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩2分
(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)



昨年4月より名古屋フィルハーモニー交響楽団コンポーザー・インレジデンスを努めているが、管弦楽作品を昨年11月に発表した折、室内楽作品に興味を持つ聴衆がいるかもしれないと思い立ち愛知県芸術劇場で個展を開催する事を決めた。また17年というこれまでの人生の半分近くを欧州で過ごした後、母校である京都市立芸術大学で教鞭を執るために日本へ帰国した事を記念しての今回の個展となる。フランス・ストラスブールを拠点に欧州で活躍を繰り返す現代音楽アンサンブル、ハナツ・ミロワールを招聘し、僕が育った街である兵庫県宝塚市にある宝塚バガホールを皮切りに今回の愛知県芸術劇場、それから著名な賞を初めて受賞した場所、東京オペラシティと僕のこれまでの活動と深い関わりのあるコンサートホールを今回のツアーを行う会場として選んだ。

フランスの伝統を受け継ぎつつ新しい音楽を求める日本人作曲家の思いを体感して頂こうと、僕が影響を受けたフランスの作曲家の作品も今回のプログラムに入れた。またハナツ・ミロワールによって昨年のヴェネツィア・ビエンナーレで初演された「ハウリング／ワーリング」の日本再演を始め、書き上げたばかりの2つの室内楽新作も聴きどころである。伝統と革新が織りなし、日欧の文化が万華鏡の様に乱反射する公演を皆様にお届け出来ればと考えている。

酒井健治 (作曲家・コンサートプランニング「K's Blue Production」主宰)



©Yoshihiro Kaneda

日下部任良 (くさかべ ただよし)

「言語としての音楽」をテーマに古典から現代まで幅広い作品に取り組むサクソフォン奏者。これまでに欧州や南米など数々の国際音楽祭に出演、またイタリアなど海外の国際コンクールに入賞し国際的な活動を行っている。ソロ、室内楽、オーケストラ奏者として演奏、音楽教育を行う傍ら、箏や日本舞踊など日本伝統芸能とのコラボレーションにも取り組んでいる。愛知県立芸術大学音楽学部首席卒業、ウィーン私立音楽芸術大学大学院修士課程を最優秀の成績で修了。一般財団法人地域創造公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業鹿児島セッション派遣アーティスト。広島ウインドオーケストラ テナーサクソフォン奏者。石川県小松市立高等学校非常勤講師。



伊藤憲孝 (いとう のりたか)

アムステルダム、ベルリンで学ぶ。国内主要都市をはじめ、ヨーロッパ、アメリカ合衆国など世界各地での演奏を行い、その演奏は、ザ・ニューヨーク・タイムズをはじめ、新音楽時報、ベルリン・ブランデンブルク放送などで取り上げられている。また、酒井健治のソロピアノ作品全曲演奏会を、イタリアのメディチ荘・ローマ日本文化会館より招聘を受け行っている。スロヴァキア国立歌劇場管弦楽団をはじめ国内外のオーケストラと共演。室内楽奏者として著名ソリストや、NHK交響楽団メンバーとの共演を行なっている。録音はこれまでに国内およびドイツにて3枚のCDをリリース、またiTunes、Amazonなどで配信を行っている。福山平成大学准教授、エリザベト音楽大学大学院非常勤講師。



©渡邊一生

太田真紀 (おおた まき)

同志社女子大学芸学部声楽専攻卒業。大阪音楽大学大学院歌曲研究室修了。東京混声合唱団へ所属した後、文化庁新進芸術家海外研修制度にてローマに滞在。これまでにイザベラ・シェルシ財団、ケルン大学にてリサイタルを開催。いずみシンフォニエッタ大阪定期演奏会へソリストとして出演した他、ヌオヴァ・コンソナンツァ・フォンダメンタ・フェスティバル(ローマ)、シェルシ音楽祭(バーゼル)、ブタペスト音楽センター、サントリー音楽財団サマーフェスティバル、武生国際音楽祭、東京オペラシティリサイタルシリーズ「B→C」、ニュー・プランシュ京都他に出演、活発な演奏活動を行っている。アンサンブル九条山メンバー。



本條秀慈郎 (ほんじょう ひでじろう)

本條秀太郎師に師事し本條秀慈郎の名を許される。桐朋学園短期大学部卒業、在学中故杵屋勝芳壽氏に師事。同大学講師。現代邦楽研究所修了。Accフェローによりニューヨークへ留学。演奏は故蜷川幸雄にも絶讃される。第70回文化庁芸術祭新人賞。第25回回光音楽賞。第27回京都青山音楽賞青山賞。第12回宇都宮エスペール賞等受賞。坂本龍一の"async"に参加。文化庁文化交流使任命。東京オペラシティ文化財団「B→C」出演。ロンドンWigmore Hallで演奏。世界各国でリサイタル。オーケストラアンサンブル金沢、日本フィル、東京シティフィル、Ensemble NOMADO、Avantil、InterContemporainと共演。作曲家の委嘱活動など次の三味線を創造している。邦楽ソリストとして酒井健治「Cantus」を2017年に初演。



©Gregory Massat

HANATSUmiroir (ハナツ ミロワール)

HANATSUmiroir (ハナツミロワール)は現代音楽を主なレパートリーとし、2010年に発足して以来、拠点であるフランス・ストラスブールでの年間数回のシリーズ公演に加え、ヨーロッパや世界各地において活動を展開している。若手の現代音楽作曲家とのコラボレーションに力をいれており、現在までに多くの作曲家に作品を委嘱、初演している。コンサート形式だけでなく、現代音楽舞台の製作もおこなっている。演奏家に加えて、舞台美術家、書道家、ダンサー、照明アーティストなどもメンバーに含み、聴覚と視覚のバランス、相乗効果をめざし、作曲家、奏者、ビジュアルアーティストそれぞれが、他の芸術を吸収し聴衆に総合的な未聴・未視感を提供する。ヴェネチアビエンナーレ、フェスティバルMUSICA ストラスブール。その他多数の現代音楽フェスティバルにも招待されている。2018年10月には作曲家Samuel Andreyevの作品集CD Music with no edges をオーストリアのレーベルKAIROSよりリリース予定。また現代音楽を通しての教育活動にも重点を置き、子供向けの公演の開催や各種教育機関や音楽院などでのレジデンス音楽家としての活動の他、様々な教育的プログラム及びカリキュラム、現代音楽教材用DVDの研究及び製作も積極的に行っている。



©Maxime Lenik

酒井健治 (さかい けんじ)

京都市立芸術大学にて学んだ後渡仏。パリ国立高等音楽院、ジュネーブ音楽院を最優秀の成績で卒業後、Ircam (フランス国立音響音楽研究所)にて学び、2012年マドリッド・フランスアカデミーの会員に選出された。リヨン国立管、ルツェルン響、ベルギー国立管、N響、京響、読響、レ・ヴァン・フランセ、アンサンブル・アンテルコンタンポラン等の著名な音楽団体、またシルヴァン・カンブルラン、ジョナサン・ノット、ジョナサン・シュトックハマー、エドウィン・アウトウォーターや下野竜也等の指揮者によって作品が世界初演され、2017年名古屋フィルハーモニー交響楽団コンポーザー・イン・レジデンスに就任した。武満徹作曲賞第一位、エリザベト王妃国際音楽コンクール大賞、文化庁長官表彰(国際芸術部門)、芥川作曲賞等次々に受賞し、2015年にはローマ賞に選ばれた。今年度より京都市立芸術大学で教鞭を執っている。